

後編：近代ツーリズムの誕生と発展

第1部 近代ツーリズムの時代

序章 近代ツーリズムとは

第1章 旅客鉄道の誕生と発展

初の旅客鉄道：リバプール・マンチェスター鉄道

鉄道による交通革命

イギリスの鉄道の発展

自由競争から統合へ 政府の干与 鉄道清算所の設置 ゲージ戦争 標準時と時刻表

ブラッドショーの時刻表

ヨーロッパ大陸諸国の鉄道

フランスとドイツ 観光国スイス アルプスの鉄道トンネルと国際列車

アメリカの鉄道に学んだヨーロッパ

第2章 近代的ホテルの誕生と発展

1. ヨーロッパのホテル

ステーション・ホテルの登場

地方のステーション・ホテル 急増するホテル

近代的豪華ホテル

オスマンのパリ大改造とグランドホテル グランドホテル・デュ・ルーブル誕生

グランドホテルの時代 パレス級ホテル

2. アジアのコロニアル・ホテル

サーキーズ兄弟 ラッフルズ・ホテルとラッフルズ卿 コロニアル・ホテルあれこれ

3. アメリカのホテル発展史

ワシントン大統領の国内視察旅行 タバーンの時代

タバーンからホテルへ：第一世代のホテル

失敗したユニオン・パブリック・ホテル ニューヨークのシティ・ホテル

ボストン・エクスチェンジ・コーヒーハウス&ホテル

第一世代のホテルの特徴

経済との関わり 社会と文化との関わり 女性の利用客とホテルの戦略 ホテルは迎賓館

交通革命と内陸開発

第二世代のホテル（1815~40）

第二次ホテル建設ブーム トレumont・ホテル 交通機関の発達との連動

フィラデルフィア万国博覧会（1876年）まで

コマーシャル・ホテル リゾート・ホテル 鉄道ホテルとセツルメント・ホテル

大陸横断鉄道 南北戦争の影響 フィラデルフィア万国博覧会

フィラデルフィア万国博覧以降

ウォールドルフ・アストリア・ホテル スタットラーによるホテル経営の刷新

1ドル半でバス付の部屋を

世界に進出するシェラトンとヒルトン

シェラトン・チェーン ヒルトン・チェーン 航空会社のホテル業への進出

ホリデーインとモーテルの近代化

第3章 旅行業の誕生と発展

旅行業というビジネス

1. 旅行業の創始者トマス・クック

旅行業誕生の瞬間 旅行促進にかけた情熱と使命感 利益を出すリヴァプール・ツアー

ドル箱のスコットランド・ツアー 第1回ロンドン万国博への集客

旅行業専業への壁

鉄道会社への依存 スコットランドからの締め出し 初のヨーロッパ大陸へのツアー
労働者の祭典ツアー

1862年：旅行業の転回点

第2回ロンドン万国博 大陸への本格的進出 スイス・ツアーの成功
スイスからイタリアへ クックの法則 ホテルとの関係改善

世界制覇への道

英国のライバルたち 冬の中東ツアーによる事業の通年化 クック父子の路線対立
ジョンによる大衆路線の放棄 世界最大の企業へ

マス・ツーリズム時代の到来とクック社の後退

クリエイティブ観光エージェント会議 労働運動の高まり 落日

2. アメリカの旅行業者

トマス・クックのアメリカ支社

アメリカ旅行業者協会（ASTA）の設立

汽船会社とのコミッション交渉 旅行業者とホテルとの関係 旅行業者と鉄道との関係
航空機の登場

第4章 新しい観光対象と関連産業の成長

1. 海浜リゾートの開発

イギリスの海浜リゾート

勤労者階級の海浜リゾート進出 レジャー栈橋 スケグネスの開発

フランスの場合

2. 都市の観光魅力

1) パリで生まれたレストラン

レストランの語義 旧体制下のパリ外食事情 レストランの誕生

2) コーヒーハウス（カフェ）とパブの始まり

コーヒーという飲み物

ロンドンのコーヒーハウス

仕事場兼情報収集の場 ジョン・マッキーのコーヒーハウス巡り

パリのカフェ

カフェ・プロコップ ナイトライフと盛り場

3) カジノ

カジノ事始め フランスのカジノ

3. 万国博覧会の開催：その意義と影響

内国産業博覧会から万国博覧会へ

第1回ロンドン万国博覧会の衝撃

第1回パリ万国博の理念

フランスのモード産業の誕生と発展

衣生活の自由化 既製の登場 マガザン・ド・ヌヴォーテ デパートの誕生

都市内交通の改善：移動手段としての乗合馬車

市内交通としての乗合馬車

万国博覧会の及ぼした影響と巨大博物館

大英博物館 ルーブル美術館

4. 観光行動の広がり

1) 自転車の登場とサイクリング

自転車の歴史

ミショーからターナーへ 安全自転車「セイフティ」 サイクリング・ブーム

サイクリングと女性解放

2) 近代スポーツの誕生と発展

スポーツもイギリスで誕生

近代オリンピックの誕生

ピエール・ド・クーベルタン 第1回アテネ・オリンピック大会 世界平和への祈願

冬期オリンピック大会の始まり

3) 近代的旅行ガイドブック・シリーズ

4) 観光促進組織の発生

地方観光協会の誕生 国の観光宣伝機関の設立

5. 観光資源の保護と活用

「文化遺産」意識の登場：フランスの場合

イギリスのナショナル・トラスト

湖水地方の環境保護運動 入会地保存協会 オクタヴィア・ヒルの戦い

ナショナル・トラストの誕生と発展

歴史的建造物の保護 ネプチューン計画

国立公園の誕生：アメリカの自然保護思想

西部開拓 自然保護の先駆者たち 自然保護の父ジョン・ミューア

国立公園誕生前史

「公園」の誕生と変遷

アメリカの都市公園

田園墓地 ニューヨークのセントラルパーク

国立公園への道

ナイアガラの教訓 ヨセミテ州立公園の成立

イエローストーン国立公園の成立

ホルターとブリジャー イエローストーンの夜（1870年9月19日） 鉄道の支援

ヘッチヘッチー論争（開発か自然保護か）

ミューア対ピンショー 国立公園をめぐって

第5章 大陸間旅行の発展：帆船から蒸気船へ

1. 汽船による大西洋横断事始め

最初の海洋蒸気船サヴァンナ号 ロイヤル・ウィリアム号

シリウス号とグレート・ウエスタン号

2. 蒸気船定期航路

大西洋航路：キュナード対コリンズ

インド洋からアジア、オセアニアの海へ

P&O 汽船会社 希望峰廻りの航路 黒船来航 スエズ運河開通

太平洋航路

パシフィック・マイル・ライン カナディアン・パシフィック・ライン 日本も世界の海へ

豪華客船の時代

- 巨船化と高速化の競争 第一次大戦後：豪華客船の全盛時代 アメリカの繁栄
- 定期客船航路の終焉
- 3. 世界観光の時代へ
- 定期航路の旅
 - 帆船の時代 ディケンズのアメリア紀行：汽船旅行の旅事始め サッカレーの地中海紀行
 - 初の大西洋横断バック・ツアー
 - 初の世界一周観光
 - トマス・クックの世界一周 ジュール・ヴェルヌの「80日間世界一周」
 - その後の世界一周旅行
- 4. クルーズの発祥と発展
- クルーズ船観光事始め
 - マーク・トウェインの「赤毛布旅行記」 初クルーズの実態 聖地では
 - ヨーロッパ放浪記 早過ぎたクルーズ
 - 初期の観光クルーズ
 - フィヨルド・クルーズ 地中海クルーズ
 - 世界一周クルーズ
 - 世界4分の3周クルーズ パナマ運河開通後の世界一周クルーズ
 - 日本に寄港した客船とクルーズ船

第2部 マスツーリズムの時代

第1章 マスツーリズム前夜

1919年夏

1. 勤労者階級のツーリズム参加

- イギリスの銀行休日法 有給休暇の発生
- 有給休暇法とILO：有給休暇の国際化
 - フランスの有給休暇法 ILO第52号条約 1936年の希望
 - マスツーリズムへの道程
 - スイスから広がったコロニー・ド・バカンス フランスの休暇家族の家
 - 経済先進国イギリスの場合
 - イギリスの青少年ホリデー・キャンプ バトリンのホリデー・キャンプ
 - 勤労者のホリデー・キャンプ 労働組合のホリデー・センター
 - 戦中・戦後のホリデー・キャンプ
 - 独裁国家の余暇対策
 - ムッソリーニの試み ナチス政権の余暇対策事業
 - 太陽信仰の始まり
 - 1936年の夏、フランス
 - ユースホステルの誕生と国際展開
 - ワンダーフォーゲル運動 イギリスで誕生したボーイスカウト ユースホステルの始まり
 - ユースホステル運動の国際展開
 - 観光バスの登場
 - 自動車の誕生と発展 モーター・バスの誕生 観光専用のバス

2. 注目される国際観光

- 国際観光と経済
 - 初期の国際観光収支 ブレトン・ウッズ体制

国際観光と政治（平和）

第一次世界大戦後の世界 知識人たちの悲願 汎ヨーロッパの思想
ツヴァイクと「未来の国ブラジル」 林語堂の「人生をいかに生きるか」 失われた地平線

公的観光機関国際同盟の誕生

国際観光統計の始まり

第2章 第二次世界大戦後のツーリズムの展開

1. 国民観光の促進：マスツーリズム時代の到来

ソーシャル・ツーリズム運動：「万人に観光を！」

ソーシャル・ツーリズムとは

ソーシャル・ツーリズム運動の内容

ソーシャル・ツーリズム国際大会 初期のソーシャル・ツーリズムの施策

フランスの家族休暇村 需要面の施策例

2. 第二次世界大戦後の国際観光

国際観光の容易化

1) マーシャル・プランと国際観光

マーシャル・プランとは マーシャル・プランの目的と条件

マーシャル・プランに取り上げられた観光事業

マーシャル・プランによる観光事業振興策 自由ドルの確保 観光宣伝の成果

2) 国際バカンス商品の誕生

非営利法人から営利企業へ：地中海クラブの例

地中海クラブの誕生 地中海クラブの世界展開 地中海クラブのコンセプト

マスツーリズム最大の受入国スペイン

スペインの国際観光の始まり 航空旅行商品の大量生産 リゾート大国スペインへ
観光開発の負の影響

個人的バカンス体験

マジョルカのアパートホテル コスタ・ブラバの休暇村 冬のバカンス

第3章 航空観光の時代へ

飛行機の誕生と初期の発展

領空主権の問題

両大戦間の航空旅行の発展

第二次世界大戦後の航空輸送

シカゴ条約による民間航空の秩序

領空主権の制限 ICAO と IATA バーミューダ協定 大西洋の観光運賃をめぐる

定期航空とチャーター航空

規制に縛られた定期航空 欧州内不定期航空業務の商業権に関する多角協定

定期航空とチャーター航空の運賃格差 定期航空の IT 運賃

航空規制緩和への道

観光と航空に関する国際会議 レイカー航空の挑戦

WTO と IATA 共催の観光と航空輸送に関する国際会議 第二バーミューダ協定

アメリカの航空規制撤廃政策

1974年の行政訴訟 航空規制撤廃法の成立 1978年の米国モデル協定

格安航空会社の登場

サウスウエスト航空の誕生 サウスウエスト航空のサクセス・ストーリー
ライアン航空他

第4章 アジア太平洋地域の国際観光の始まりと発展：PATA 果たした役割

PATA（アジア太平洋観光協会）の設立

サーストンの電報 第1回太平洋地域観光会議 観光立国を目指していたハワイ
ASTA コンベンション、初めてヨーロッパで開催 ETC が参考になった

PATA の初期の組織と活動

本部をサンフランシスコへ

ディスカバリー・ザ・パシフィック

チェッキリポート「太平洋・極東地域における観光事業の将来」

ユニークな PATA の支部活動：マーケティング活動の革新

地域支部 Area Chapter の設立

プロモーション支部 Promotional Chapter の導入

支部だけ会員の制度 観光宣伝手法の変化：一般消費者向けから旅行者対象へ
トラベルマートの開催

観光産業の人材育成

先行するハワイ ハワイ州立大学に観光産業経営学部を設立 途上国での観光教育

観光開発と資源保護：PATA の新しい使命へ向けて

観光開発委員会 Development Authority の設立 PATA タスクフォースの派遣
事例としてのチェンマイ PATA 礼賛

第3部 観光史の視点

1. 観光現象のメカニズム

観光現象の5つの領域

観光史と5領域

交通手段領域 観光市場領域 観光目的地領域 旅行業領域 外的要因領域

2. 国際観光商品の生産と流通

旅行商品の自己生産と注文生産

パッケージツアー（市場生産）の生産と販売

旅行者の機能と役割 2種類の旅行商品

3. 観光における現代的諸問題

国際観光の消費者保護

観光開発と環境

観光分野の調査と統計